

未来への遺産を創造する  
ハートフルコンストラクター 荒牧組



↓ここをクリック

過去の 社長の雑談 ^

<十五夜> H21.10.3

夕方、薄雲に出たり入ったりしていたまあるい月は、もうすっかり雲にかくれてしましました。十五夜のきれいな月は見られませんでした。

しかし、夜中、目を覚まし見上げた空は全体がポツッと明るいのです。満月の月は、うすい雲をとおして確かに輝いていました。まるで、空全体が蛍光管のような……。

そんな十五夜の夜空でした。

<弓張月> H21.9.26

妖精が乗っていそうな、2日月・3日月も素敵なのですが、半分の月もとっても好きです。

上弦の月で、これから満月にむかって大きくなっていく月、弓矢の弓を大きく張っている様なので“弓張月”だそうです。

万葉の時代の人達も、歌にうたっていた弓張月……日本語って素晴らしいですね。

今夜は、とてもよい弓張月夜です。

<とまと その後> H21.9.24

こんなに色づき始めました。



<新米> H21.9.22

「う～ん最高」

「うまっ……」

「こんなに美味しかったのか……」などと新米の感想が……

今年も、社長に供げて下さいと新米を早々頂きました。

「このご飯があれば、何もいらないね！」

甘く香り高い新米をいただきながら……

“ごはんが美味しい”と言える幸せを、天の神さまに感謝せねばと思う秋の夕べでした。

<夕焼> H21.9.19

こここのところ、毎日の様に美しい夕焼けが見られます。

今日のは、特にピンクから赤紫……紫が強く、刻々と変化する西の空から目が離せないほどの美しさでした。

夕焼けの美しさといえば、その昔、尾瀬に泊まった時の夕焼けです。'夏の思い出'の中にある「しゃくなげ色に黄昏る……♪」の夕焼けの中で、自分の顔も体も桃色だった事を思い出していました。

<あおいトマト> H21.9.16

我が家の今一番の話題は、トマトの事です。

いつのまにか、松の根元に自生してしまったトマトです。どういう訳か、環境の悪い場所にすくすくと大きくなり、私の身の丈を越えてしまいました。

緑の実が20個ほどついているのですが、いっこうに赤くなりません。日照が足りないのでしょうかね……。皆で赤くなれなれと見守っています。



<白露> H21.9.7

昼間は、まだまだ暑い日々ですけれども、夜はすっかり涼しい候になってしまいましたね。

今日、9月7日は「白露」(はくろ)だそうです。24節気の1つで、涼しくなり、草花には白い露が降りるという意味だそうです。

空も青く、高く、気持ちの良いお天氣です。

今朝、氏小の前を通ったら、運動会の練習らしく、元気な子供達の声がひびいていました。

<さんま> H21.9.6

目黒の「さんま祭り」のTVを観ながら、明日は焼さんまにしようと思っていたら……。

「今日はさんまバーベキューしませんか？」と剛くんからのお誘いで、日曜の夜は、炭火焼きのさんまということになりました。さすが、炭火のさんまは香ばしくて、美味でした。ビールを片手にさんまを食しながら見上げた空は、高~く、秋だなあと実感いたしました。

<素晴らしい日> H21.8.30

たまに出掛けませんか……と親しい友人からの誘いでました。馬頭の「もう一つの美術館」「広重美術館」…そして、午後はハーモニーホールでの千住真理子コンサートでした。

近くの美術館って中々行けそうで行けないものです。ほとんど、人もまばらで、ゆっくりとした時間が流れている様な、とてもよい時間を過ごさせてもらいました。

千住真理子も素晴らしい、帰宅したいまでも頭の中でストラディヴァリウス(デュランティー)が鳴り響いています。

## &lt;コートダジュール&gt; H21.8.28

いま、コートダジュールが美しいです。私のは、鉢植えなのですが、氏家なら地植えも可能かもしれません。野ばたん(紫紺のばたん)と同じなかまなのですが、すいぶん名前によってイメージがちがってしまいます。真冬以外、ずっと咲いてくれていますので、とても楽しめる花です。



## &lt;さるすべり&gt; H21.8.18

我が家家のさるすべりが、今年はみごとに咲きました。



## &lt;お盆&gt; H21.8.17

お盆が終わりました。ずっとはつきりしない夏とは言えない天候でしたのに、お盆とともに真夏日が戻って来ました。せみの声も、いちだんとたくましく、本物の夏になった様です。

我が家も、2年続きの初盆ということで、皆様には本当にご迷惑をお掛けしてしまいました。本当にありがとうございました。

何だかこれで私の夏が終わった様な気持ちがいたします。



16日の晩は、家族でバーベキューをしました。

## &lt;花火&gt; H21.8.15

かわいい線香花火、臨場感たっぷりの大輪の打ち上げ花火、どちらも甲乙つけがたい夏の風物ですよね。

今年も、真岡・宇都宮・喜連川のを観に行きました。宇都宮のは、休耕田の水面に写るベストポジションの花火でした。喜連川も天気もよく、風があり、素晴らしい花火でした。

私は、どこかで「ポンポン」と音がすると、ちょっと落ち着かなくなるくらいの花火好きです。

私の一番の花火と言えば、一昨年、夫と行った上河内の花火でした。真上から降りそそぐ大輪の菊に息をのむほどの感動でした。あの冠菊(かむろぎく)は、一生忘れられない花火になってしまいました。

#### <音楽> H21.8.4

車の中で、台所で、寝室で、リビングでと音楽はいつも身近にあり、自然に流れています。

「さあ聴こうか」っていうのって、音楽会にでも行かない限り、意識しないですよね……。

いま、ちょっとはまっているのは、平井堅の「Ken's BAR2」です。これは娘から借りたものですが、なかなか眠りにつけない時など、とてもいいものです。

#### <ハーブ> H21.8.1



メーセージが咲きました。  
今年、近所の友達から頂いた  
ものです。  
美しい青紫です。憂鬱な気持  
ちを引き締めてくれます。



フローレンスフェンネルが  
咲いたのですが、  
何だか陽気のせいか  
元気がもうひとつです。

#### <にっぽんの歌、世界の歌> H21.7.30

夫の友人から「にっぽんの歌、世界の歌」というCD30枚セットを頂きました。FMで放送されたのを編集したものです。「これは、まだ春と夏のものだけですよ……」と言われました。毎日、車に積んで聴いています。民謡、童謡から演歌、歌曲、オペラのアリア、合唱曲……すべて網羅されていると言っていいほどのボリュームです。

こんなにも良い曲、人気曲といわれているものがあるのかと今さらながら感心して聴いています。それも、ぜんぶ知っている曲ばかりです。なんだか、とても癒されています。

しかし、よくもこんなに沢山編集したものだなあと感心しています。Oさん、ありがとうございます……。

#### <誕生日> H21.7.22



7月22日は、亡きチエ母の誕生日です。

我家は、誰かの誕生日には必ずケーキカットをする習慣になっています。今年はもう出来ないのかとちょっとさびしい気がします。我が家は、みんな冬生まれが多く、真夏のデコレ

ショウケーキはとても新鮮で楽しかったので、残念です……。

姉や妹や、親しい友人からは、母の好物のお菓子が届き、仏前にお供えしました。

今年ぐらいはケーキカットをして、孫のハッピーバースデイ♪を聞こうかなと思います。

<天王祭> H21.7.19

今年もお祭りがやってきました。我が家の三女は、氏家お囃子会に入れて頂いております。

今年は、亡き母のためにと、お囃子会の皆さんのが我が家の前で「昇天」という曲をたたいて下さいました。祭太鼓は聞き慣れていますので、あまりに違うリズムと響きでしたので、ちょっと驚きました。何か天に届くような、おごそかな太鼓の音色で感動いたしました。遺影の母も、心なしか微笑んで聞いている様に感じました。

お囃子会の皆さん、本当に有難うございました。

<山ゆり> H21.7.8

毎日蒸し暑く、不快な日々が続いています。

今年は、あっと油断している間に、ハナミズキをはじめ庭の木々が毛虫にやられてしまい、あわてて消毒をたのみました。庭中けむしの死がいがいっぱい……、毛虫嫌いの人には恐ろしい庭の様相です。

そんななかにも、山ゆりが沢山咲いてくれました。

私は百合のなかでも山ゆりが大好きです。「どうだ」と言わんばかりに自己主張をしている様な…、個性的なその風情は素晴らしいです。雨にも似合う花だと思います。この時期のすっきりしない気持ちをUPさせてくれます。



<鮎3> H21.6.28

今日は、筈川の解禁です。

こここのところ毎年、家族連れて、和泉屋旅館泊の初釣りが好例となっています。私も、今回初めて母に代って連れて行ってもらいました。

午前中だけで、30尾ほどを釣り上げたようです。思ったほど釣り人は多くなかったようです。初めて間近で釣りを見ることが出来、とても面白く、釣り人の気持ちがほんの少し分かって気がしました。

深い緑に囲まれ、瀬音を聞きながらの休日はとても心癒され、リフレッシュ出来ました。



## &lt;最近思っていること&gt; H21.6.22

家族のあいだ、職場の人間関係、友人との関係、人間一人では生きていけません。いろいろな人達とかかわらなければ生活は成り立ちません。

しかし、この人間関係って本当に困った、やっかいな”問題”が必ず生じます。なんで、こんなに、こんがらがった糸みたいになっちゃうのか……、よい人同士なのに……。

傍らから見ても、心痛む事がいっぱいあります。厳しく暮らしにくいこの時代に、せめて廻りの”ひと”とだけでも、うまく穏やかに楽しくやれないものでしょうかね？

他人を批判するまえに、もう一度「あなた、謙虚になってみませんか？」

## &lt;いのちのリレー&gt; H21.6.2

6月21日は、マスおばあちゃんの33回目の祥月命日です。娘たちとお墓参りをして来ました。そして、33年前の事などもいろいろと思い出しました。

今日と同じ様に雨模様の肌寒い日でした。私も嫁いで来て2年間、いっしょに暮らしました。たった2年間でしたが、とても印象深く残っている事がいっぱいあります。その中でも、ひ孫の彩子をいかにも大切そうに抱っこしてくれている姿は、今でもくつきりとした映像となって残っています。

そして、母も晩年、ひ孫の良太・歩未を大切そうに抱っこして眠らせててくれていました。母は、33回忌は出来ずに逝ってしまいましたが、あちらできっと楽しい話をしている事でしょう。

これって、本当に、いのちのリレーなんですね。

## &lt;最近グッときた言葉&gt; H21.6.15

先日、ボ一とTVを聞いていた時……、5~6人の女性たちが”夫”談義をしていました。

その中の一人が、さんざんダメ夫の悪口を言っていましたが、かと思ったら最後に「まあ、生きていてくれればいいか～」と言いました。

これって最高の「愛の言葉」だと思いませんか。ぐっときたのは、私だけかしら……。

## &lt;草むしり&gt; H21.6.14

こここのところの雨で、びっしりと敷き詰めた様に、雑草が芽を出しました。母が目の敵の様に草取りをしていた姿を思い出しました。

私も少々腰が痛いのだが、1時間ほど草を抜きました。ほんの1部分ですが、きれいになった庭は、なかなか気分のよいものです。母まかせで、自宅の庭は草1本むしったことがなかった私です……。その役目が回ってきたみたいです。

しかし、涼しい時間にほんの少しづつやればいいかも、と思いました。今日は、モーツアルトの”フルートとハープのための協奏曲”を聞きながら……、なかなか気持ちのよい時間でした。といえば、母も畑の中にイスとラジオを持ち込んで、すわりこんでいましたっけ……。

## &lt;鮎 2&gt; H21.6.7

今日は鬼怒川の解禁です。剛くんが少しの時間で20尾ほどの鮎を釣って来ました。「時間も早いし、今日は炭火焼きにしよう！」ということで、こんなに美味しそうに焼き上りました。



さすがに、ガスで焼いたものよりは香ばしくて……  
孫のリョウくんも3尾もかぶりついで、たいらげました。  
☆☆☆篠川も期待してま～す。

## &lt;麦畑&gt; H21.6.6

もうすっかり田植えも終わり、緑の若苗が美しい田園風景の氏家です。そのなかに、金色に輝く麦畑が広がっていました。最近、麦を作っている農家が増えた様な気がします。もう、刈り取りが終わったところもあるようです。

なぜか、私は、この麦畑が大好きです。つい車を止めて、ながめてしまいます。麦わらの香りとともに、美しい金色の波のうねりは、何か昔の風景をよみがえらせてくれます。そういえば、その昔、我が家家の目の前は、ビール麦の畑でした。緑色から黄色に変わるものまで、その美しい風情は、子供ながらに大好きだった気がいたします。そして、毎年、毎年、麦の背丈よりも、少しづつ大きくなっている自分が嬉しかった事も思い出しました。



## &lt;鮎 お初&gt; H21.6.1

私の予想を超えた大漁？の鮎を、剛くんが持ち帰りました。今日は、那珂川の解禁です。

いつもプレッシャーにならない様に、「魚はいいから流されるな」とか「転ぶな」などと、つまらない言葉をかけてやりますが、今回は鮎なので、今夜の夕食の主菜になるか？と少々期待していました。

我が家は、川魚はダメなのですが、鮎だけは別です。少々ほろにがく、香りもよく、素晴らしい「お初」でした。

夫も、鮎は好物でしたので、仏前にも供えました。



## &lt;ハーブ&gt; H21.5.30

数年前から少しづつ植えたハーブの数々が、こここのところとても育ってくれ楽しめてくれています。

ハーブは、個性あふれる香りを持ち、花や茎・葉・種子・根などが薬品・食品・染料その他様々な用途に用いられ、美容や家事に至るまで人々の生活に役立ち、うるおいを与えてくれる「有用植物」の総称なのだそうです。特有の香りを持つものが多いので香草と訳され、ラテン語のherba(緑の草)が語源だそうです。大なり小なり薬効も得られ、お茶やポプリ・精油・アロマテラピーなどに使われています。



クローブピンク



ニゲラ



ラベンダー



サントリナ



ローズマリー



セージ



ガリガローズ

☆先日食べたチコリのサラダ、ゴルゴンゾーラあえは絶品でした。

<旧友 2> H21.5.20

先日、夫の古い友人から、メールを頂きました。夫が東京で修業していた時の同期のFさんからです。

私も、夫が亡くなったことを連絡せず、本当に申し訳なかったな～と反省しています。Fさんのことは、いつも頭をよぎりながら、何だか夫の死をどうしても知らせたくないという思いからでした。

Fさんも長野の故郷に帰り、同じ仕事をしている同志という感を夫は抱いており、気にしていました。毎年、年賀状のやりとりは欠かすことなく、「あいつは男3人け～」などと娘ばかりの自分と比べてうらやましがつたりしていました。

本当にお知らせせずにごめんなさい。このたびの突然の心温まるメール、本当に嬉しかったです。有難うございました。

<母の日に> H21.5.10

私を生んでくれた母  
夫を生んでくれた母  
私の60年間は、この二人の母を分け合って暮らしました。  
静と動の様な二人でした。  
じっと待ってくれる母  
手とり足とり教えてくれる母  
すぐ走り出す母  
じっくりと考えている母  
まったくちがった二人でした  
最近とても彼女たちの事を感じます。  
それは  
自分のものさしで測っているつもりだが、  
いつのまにか母のものさしを使っている自分がいます。  
60を過ぎてしまった私なのですが、母達の足元には遠におよばないなあと思います。  
永遠に彼女たちにはかなわない気が致します。  
私も、あとどれだけ生きるのでしょうか……  
彼女たちの”こころ”を娘たちに少しでも伝えられたらなあと思います。

あちらに行ってしまった二人の母に腕いっぱいの真っ赤なカーネーションを贈りたいと思います。  
「お母さんありがとう……」



母の日に娘たちからもらった  
ケーキです。

H21.5.7

市内の田んぼも、もうだいぶ田植えも終り、水面が鏡のように美しい景色です。



H21.5.6

我が家の中庭は、都わすれ・黄えびねが今きれいです。



## &lt;旧友&gt; H21.5.5

夫の古い友人のAさん夫妻が焼香に来てくれました。私にとっても久しぶりの再会ですごく嬉しかったです。

ほこりだらけのマンドリンなども登場して、しばし懐かしいひとときでした。遺影のしんちゃんも、こころなしかいつもより微笑んでいる様な気がしました。

Aさん、夫の好物をいろいろ沢山ありがとうございました。とても美味しく頂きました。

また、ぜひ、お立ち寄りくださいますよう……。

## &lt;レンゲ&gt; H21.4.30

上河内のレンゲ畠が素敵だったので、つい車を止めて写真を撮りました。

今ではすっかり見かけなくなってしましましたが、とても懐かしく、幼い頃のレンゲ畠を思い出していました。



## &lt;新緑&gt; H21.4.26

孫からうつった風邪のせいで、体調が悪いのだが、久しぶりに晴れ上がった日曜日、市内を少し車で走りました。

連休をひかえて、田んぼにはだいぶ水が入り、田植えの準備が始まっているようです。世の中の人達がよーいスタートと始動し始めている様な感じに、なんだか少し乗り遅れた感の私です。

やらなければならない事が、いっぱいなのに……。



いま、我が家の中庭は、きりしまつつじが美しいです。

## H21.4.24

桜もおわり、美しい新緑の季節になりました。

日々、刻々と変わる緑の木々は、本当に素晴らしいグラデーションを見せてくれます。パレットの中では、どうてい作れない緑の数々です。本当に自然のなせる力ってスゴイですね。緑色が濃くなる前に、この若いグリーンの重なりを楽しみたいです。



## &lt;桜だより パート3&gt; H21.4.13

草川沿いのしだれ桜が満開です。ピンクが濃く、とても美しいです。これから、年々良くなつて行くでしょう。楽しみです。

遠くに出掛けなくても、身近で、良い桜スポットはあるものです。むかし、優雅な友人が桜を追っかけて旅をしている話をしていたのを思い出しました。  
とてもいいでしょうが、身近なところに素敵な桜はたくさんありますよね。



## &lt;桜だより パート2&gt; H21.4.10

氏小が満開です。今日は入学式のようです。  
体育館から元気な声がひびいていました。



氏小の裏の「御前城跡」の景色も素晴らしいです。桜、もも、白もくれん などなど。



<桜だより> H21.4.6

夕方、まだまだだろうと思いながら、氏小の前を通ってみたら、もう5分咲きました。

プールの壁にもたれながら……、桜の真下から……、廻りをぐるぐるまわりながら……、本当に素晴らしい桜です。

花もいいのですが、幹の造形美も素晴らしいんです。「私、毎日くるんです。」という人にも会いました。

桜の上に半月の白い月がありました。満月のころ、きっと桜ふぶきでしょう……。



昨年、植えっぱなしの鉢でしたが、冬中、水や肥料を忘れずあげたお陰で、こんなに美しく咲きました。我が家家の玄関先の花たちです。



BACK